

スポーツ学再考
—新しいスポーツコーチング学の創出—
 村田正夫¹⁾

Sport study reconsideration
— Creation of new sport coaching study —
 Masao MURATA

Key words : explicit knowledge, tacit knowledge, tacit knowledge of the quality of high

1. はじめに

本年本学は開学10年目の節目を迎える。これに先立ち、昨年11月に「スポーツ学再考」をメインテーマに掲げ、各コース教員によるシンポジウムが開催された。そこでは各コースの過去の経験や本学の理念を踏まえ、新しいスポーツ学の創出を目指していく上で、その課題や展望について討論が活発に行われた。

コーチングコースが目指すスポーツ学の創出とは、企業マネジメント上の手法であるナレッジマネジメントを用いて、コース教員の高質な知識（暗黙知）を共有化し、それを形式知化して教員間や学生への知的財産として共有することである。ここでは、その一端を述べることにする。

2. ナレッジマネジメントとは

ナレッジマネジメントとは、企業マネジメント上の手法のことで、個人の持つ暗黙知を形式知に変換することにより、知識の共有化、明確化を図り、作業の効率化や新発見を容易にしようとするものである。図-1は形式知、暗黙知、そして本コース教員がトップレベルでの経験を通して培った高質の暗黙知について述べたものである。

形式知とは、言葉や文章で表現できる客観的で言語的な知、あるいは科学的知識のことを指すもので、巷にある指導解説書などがこれに該当する。一方、この形式知に対して暗黙知とは言葉や文章で表すことが難しい、主観的かつ身体的な知の事で「感覚」という次元のようなものを指し、テクニク、アートなどがこれに該当する。

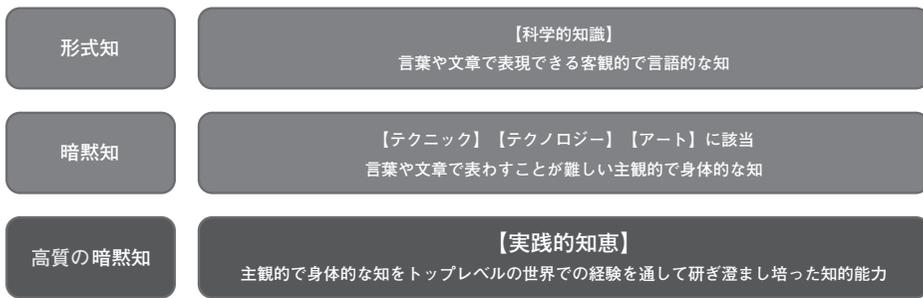


図-1. 形式知・暗黙知・高質の暗黙知

1) 競技スポーツ学科

そして本コース教員が考えている高質の暗黙知とは、この主観的かつ身体的な知を更にトップレベルの世界での経験を通して研ぎ澄まし培った知的能力のことを指し、実践的知恵と呼べるものである。指導にはある種、職人が持つ「経験と勘」や「ノウハウ」といった因子が数多く求められるもので、技能の伝承には多大な時間を要し、その人材育成に苦慮することがある。そこで我々が培ってきた高質の暗黙知を共有化し、それを形式知化して教員間や学生への知的財産として共有できるものを創出していく事が、次世代の指導者を目指す者への「ノウハウ」と成り得るからである。

3. SECIモデルの構築

図-2は我々コース教員が理想とするコーチングモデルを表したもので、通称SECIモデルと呼ばれている。

①の共同化 (Socialization) とは身体・五感を駆使し、かつ直接体験を通して獲得した暗黙知を共有、創出するプロセスのことで、ここに個々の暗黙知を終結させるのである。次に②表出化 (Externalization) では得られた暗黙知を共有できるよう形式知に変換するプロセスのことを示すものである。このプロセスがないと学生たちは自覚的に磨かれず、モデルとして共有化できなくなる。つまり、ここでは概念化することが必要となってくる。更に③の連結化 (Combination) では形式知を組合せ、新たな形式知を創造するプロセス

で形式知の体系化を図っていく。そして④の内面化 (Internalization) では利用可能となった形式知を基に個人が実践を行い、その知識を体得するプロセスを表している。こうしてここで得た新たな暗黙知をまた共同化へとつなげていくのである。この一連のサイクルを知識創造のスパイラルと呼ぶ。コーチングコースでは、このSECIモデルをコーチングの中核としてダイナミックな知識創造組織の創出を目指していきたい。

4. おわりに

スポーツコーチングは単なる選手の能力を引き出すためのサポートでなく、彼らが良識ある人として育ててもらうように指導していくことも大切な仕事である。コーチングコースはスポーツ活動を通じて学生の「やる気と社会道徳」を養う場所であり、選手の競技力を最大限に引き出し、誰からも愛され、憧れの的となるトップアスリートを育成する場であることを示していきたい。そして、最終的には競技力を高めていく中で培った学びを社会で発揮できる人材の輩出を目指すとともに、理論を詰め込むだけでなく体現することの重要性を伝えていきたい。

文献 (Reference)

- 1) 野中郁次郎 (2007) イノベーションの本質、学術の動向、財団法人日本学術協力財団
- 2) (編著) 横山勝彦・来田宣幸 (2009) ライフスキル教育—スポーツを通して伝える「生きる力」、昭和堂：京都

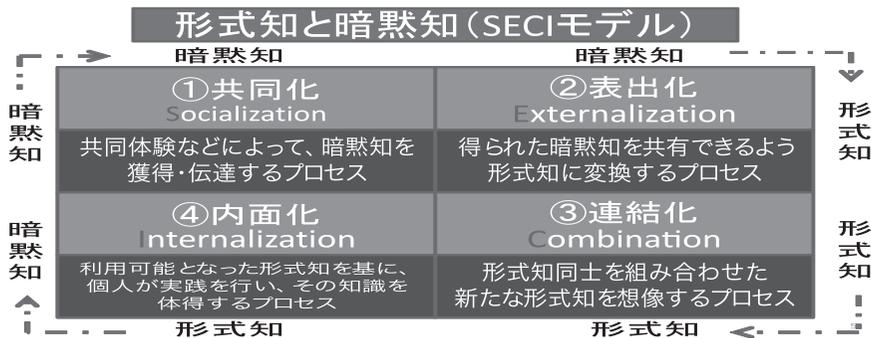


図-2. 形式知と暗黙知 (SECIモデル)